

株 主 通 信

第154期 [2016年4月1日～2017年3月31日]

『世界のパートナーと
社会課題の解決に
取り組む企業』を目指して



Contents

| | | | |
|-----------------------|----|--------------------|----|
| 株主の皆様へ | 01 | 第154期の主なトピックス | 07 |
| 業績ハイライト | 02 | 会社概要 | 08 |
| 特集：新中期経営計画 | 03 | 株式情報・株主メモ | 09 |
| 「アドバンスト・ヘルスケア」の取り組み | 05 | 証券会社に口座をお持ちでない株主様へ | 10 |
| インフラの寿命や劣化を評価する新技術を開発 | 06 | | |



当社は乳がん診療を支援する医療機器を提供するとともに、乳がんから少しでも多くの女性が救われ、家庭や職場でいつまでも輝いてほしいという願いを込めてピンクリボン活動に取り組んでまいります。

当社は、「科学技術で社会に貢献する」という社是のもと、
経営理念である「『人と地球の健康』への願いを実現する」に向けて、
世界のパートナーと社会課題の解決に取り組んでいきます。



株主の皆様には平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、前中期経営計画において、世界ナンバーワン・オンリーワン商品の投入、先進的な研究機関・大学や企業との共同研究開発拠点である「イノベーションセンター」の北米・中国・欧州での開設、マレーシアの新工場の稼動などによる新興国市場での事業基盤の強化、アフターマーケット事業の拡大、新規事業の展開など、成長に向けた施策を積極的に進めました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、**売上高は3,424億7千9百万円(前年度比0.1%増)**となり、**営業利益は370億8千9百万円(同3.9%増)**、**経常利益は370億3千9百万円(同6.3%増)**、**親会社に帰属する当期純利益は264億7千3百万円(同10.8%増)**となりました。なお、これら全てにおいて過去最高の業績を達成することができました。**期末配当金**につきましては、前期は1株当たり9円とさせていただきますが、当期につきましては1株当たり1円増の**10円**とさせていただきます。**(中間配当金10円と合わせて、年20円)**となります。

今年度より新たにスタートした**中期経営計画**(2017年4月～2020年3月)では、「**世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業**」を目指してというスローガンのもと、①**人の健康**、②**安心・安全な社会**、③**産業の発展の3つの事業領域**をベースに、事業拡大を図っていきます。具体的な内容につきましては、3、4頁でご説明しておりますので、ご参照ください。

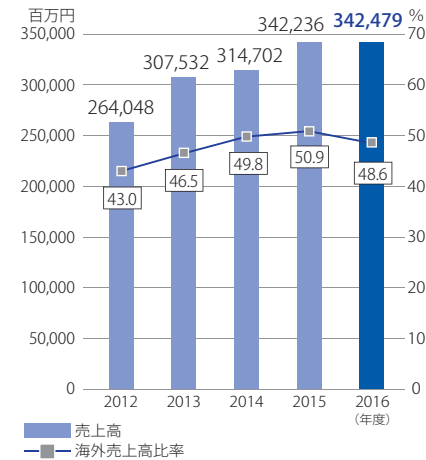
当社は、社内調査の結果、航空機器事業部における防衛省との修理契約において一部不適切な行為を行っていたことが判明し、6月9日付、防衛省より指名停止の措置を受けました。株主の皆様にご心配をおかけし、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。内部統制体制の強化やコンプライアンスの徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

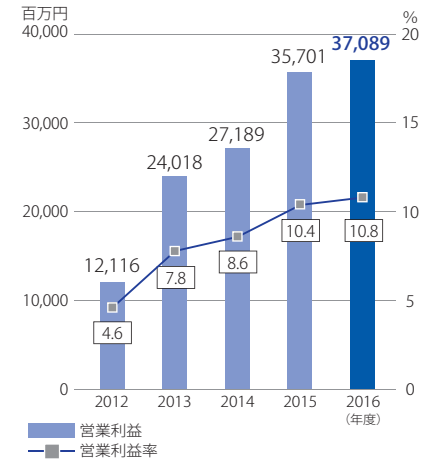
代表取締役 社長

上田 輝久

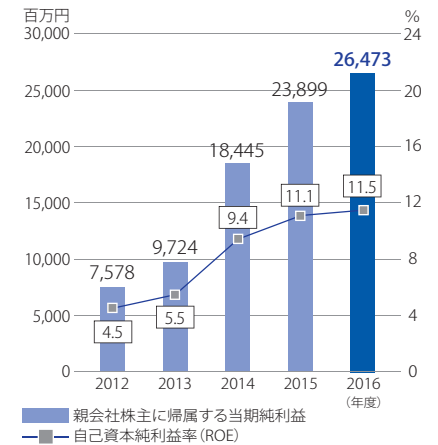
売上高 **342,479**百万円 前年度比 **0.1%増**
海外売上高比率 **48.6%**



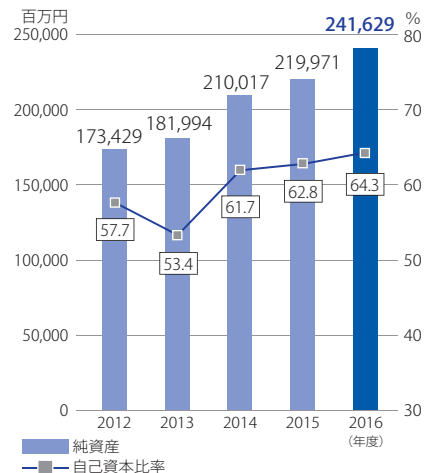
営業利益 **37,089**百万円 前年度比 **3.9%増**
営業利益率 **10.8%**



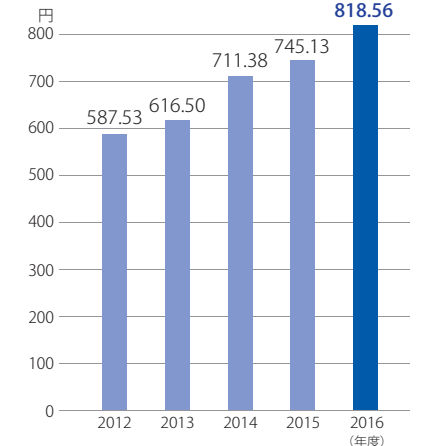
親会社株主に帰属する当期純利益 **26,473**百万円 前年度比 **10.8%増**
自己資本純利益率(ROE) **11.5%**



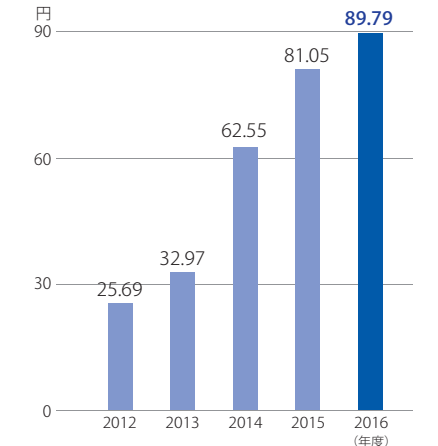
純資産 **241,629**百万円 前年度比 **9.8%増**
自己資本比率 **64.3%**



1株当たり純資産 **818.56**円



1株当たり当期純利益 **89.79**円

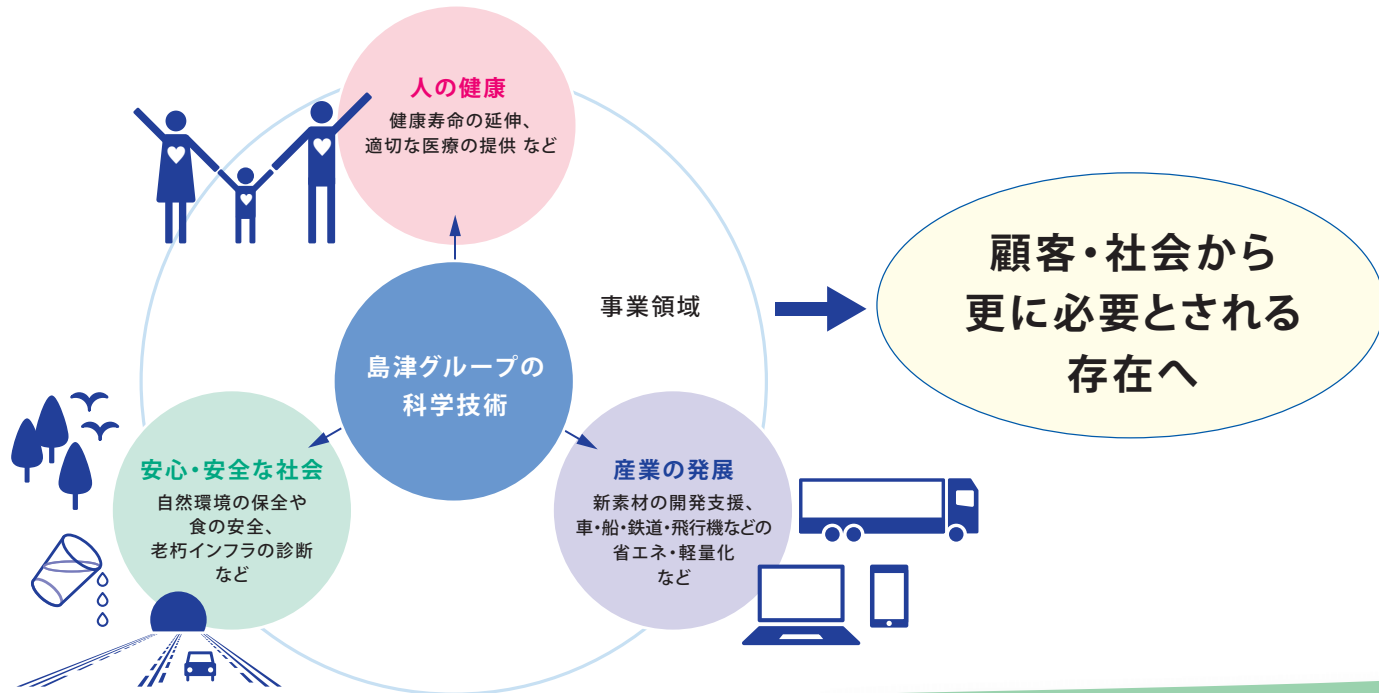


「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」を目指して

当社は、今年度よりスタートした3ヶ年中期経営計画において、「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」を目指してというスローガンのもと、①人の健康、②安心・安全な社会、③産業の発展の3つの事業領域をベースに、事業拡大を図っていきます。

近年、産業・行政・学術の垣根を越えた幅広い連携による課題の解決が求められています。当社は、顧客の課題解決だけでなく、当社が保有する技術や製品・サービスなどを深化・拡大させ、顧客とのネットワークの構築を通して、様々な社会課題を解決し、島津グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指していきます。

顧客課題・社会課題を解決



中期経営計画の3つの基本方針 (◆ 具体的な施策)

1 「成長分野投資」による事業成長

- ◆4つの重点成長分野「ヘルスケア」、「インフラ」、「マテリアル」、「環境・エネルギー」での新製品開発や新事業開発への投資を優先
- ◆特に、「ヘルスケア」分野の先進領域を「アドバンス・ヘルスケア」(5頁をご参照)と位置付け、計測機器と医用機器の融合による新事業を創出

2 事業構造改革による「収益力強化」

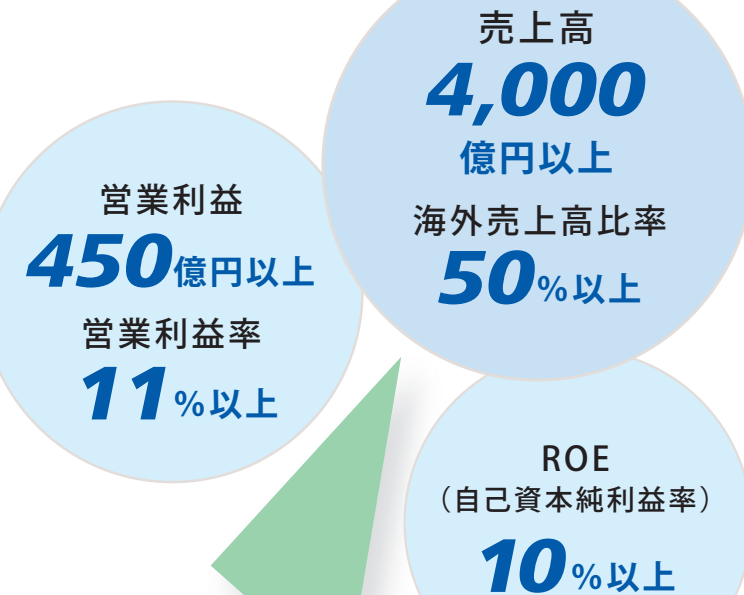
- ◆重点機種の競争力強化と不採算業種の再建・見直しによる収益基盤の強化
- ◆IoTやAIを活用したサービス事業強化と、試薬・消耗品ラインナップ拡充によるアフターマーケット事業の拡大
- ◆共同研究開発促進による、他社と差別化できる製品・アプリケーションの開発

3 「組織基盤変革」による強固な事業基盤確立

- ◆環境経営：エコプロダクツ(環境配慮製品)による二酸化炭素(CO₂)排出量の抑制など
- ◆人材育成：グローバル視点で活躍できる人材の計画的育成、ダイバーシティの推進、社内外の交流による従業員のスキルアップ
- ◆働き方改革：多様な働き方に対応する制度改革、IT化等の業務改革
- ◆健康経営：従業員の健康を増進し、生き活きと働ける環境を提供

持続的な成長の実現と中長期的な企業価値の向上

◆ 2019年度 業績目標 ◆



「人の健康」へ貢献する新たな製品・サービスの創出を目指して 「アドバンスト・ヘルスケア」の取り組み

新中期経営計画では、世界的に注目されている「ヘルスケア」分野を最重点分野と設定し、予防・診断・治療・創薬の領域で、大学や企業と連携して新たな製品・サービスを開発していきます。こうした一歩先を見据えた医療や健康へ貢献する様々な取り組みを、当社では「アドバンスト・ヘルスケア」と呼び、今後より一層注力していきます。ここでは、分析計測技術を用いた取り組みをご紹介します。

◆認知症への取り組み

アルツハイマー病に代表される認知症は、その前段階の軽度認知障害で発見できた場合、運動や生活習慣の改善などで認知症の発症を遅らせることができる可能性があります。当社は、早期に軽度認知障害を発見するため、外部研究機関と共同で質量分析装置を活用した血液スクリーニング(*1)法の開発に取り組んでいます。また、認知機能の回復のために行う運動などの予防改善プログラムの効果を確認する手法として、光脳機能イメージング装置の活用を検討しており、今後の高齢化社会において健康寿命の延伸に貢献していきます。

◆がんの超早期検査

血液中にがん細胞由来の物質が含まれるかどうかを質量分析装置で調べることで、X線などの画像診断では見つからない初期のがんを発見する研究開発に取り組んでいます。将来は、血液一滴によるスクリーニング(*1)で大腸がんをはじめとする様々ながんを早期に発見することを目指しています。

◆個別化医療

患者負担の少ない個別化(テーラーメイド)医療(*2)の研究に取り組んでいます。患者に薬を投与する前に遺伝子情報を確認することで、その人にとって最も効果的な薬が分かり、最低限の薬の量で治療が行えるようになります。投与後も体内の薬効成分の濃度を定期的に測定することで副作用の発生が予測できるようになります。より安全な個別化医療に貢献するために、迅速遺伝子検査装置や全自動薬物血中濃度モニタリング装置を用いて、投与前後の診療情報を統合的に管理するための開発を行っています。

当社は今後も人々の健康を支える技術を開発・提供し、より一層幸せに暮らせる社会の実現に貢献してまいります。



■ 液体クロマトグラフ質量分析計「LCMS-8060」

液体中に存在する極めて微量な成分の種類や量を測定できる装置。血液や尿などに含まれる代謝物や薬効成分を調べることで、がん・認知障害のスクリーニング(*1)や医薬品の効果確認などへの応用が期待されている。

- (*1)スクリーニング:がんや認知症などの可能性があるかどうかを調べること。
- (*2)個別化(テーラーメイド)医療:一人ひとりの患者の病状や体質に応じて治療や投薬の方針を見つけ、最適な医療を施すこと。



■ 近赤外光脳機能イメージング装置

「SMARTNIRS (医療用)/LABNIRS (研究用)」言語・視覚・聴覚・運動などに伴う脳の活動状態をリアルタイムに観察できる装置。

社会的課題である老朽化したインフラ構造物の維持管理に向けて インフラの寿命や劣化を評価する新技術を開発

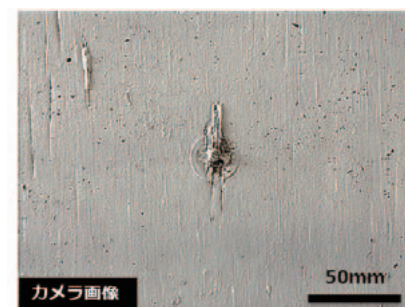
高度成長期に建設され老朽化した化学プラントや橋梁、道路などの維持管理が近年の社会的課題として顕在化してきています。当社は、これまでに培ってきた様々な技術をベースに、インフラの寿命や劣化を評価する新技術の開発に注力しています。

2016年9月には、超音波と光を利用してコンクリートや鉄鋼構造物の見えない劣化を検出できる新技術の実用化に向け、京都大学と共同研究を開始しました。従来手法では検知が難しかった亀裂や塗膜の浮きを迅速かつ非破壊で検出することに成功しています。プラントの配管やタンクをはじめ、道路や橋梁などの鋼材、コンクリートの検査などへの適用を目指しており、検査工程の大幅な省力化が期待されています。

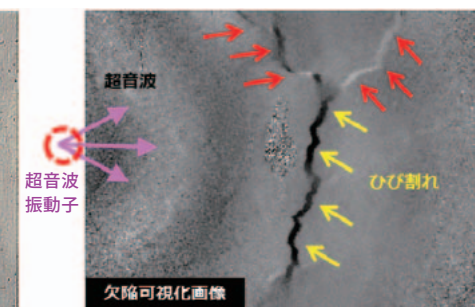
また、これまで防衛事業で培ってきた磁気測定技術を応用し、ワイヤーロープの損傷を高感度かつ迅速に検知する新技術を開発しました。早期の実用化に向けてさらなる改良や評価を進めています。将来的にはこの技術をエレベーターのシステムに組み込み、ワイヤーロープの損傷状態を常時モニタリングしたり、携帯型やドローン搭載型の装置として実用化し、クレーンのワイヤーロープや橋梁のケーブルの検査に適用することを目指しています。

当社は、これまで、試験機や分析機器を中心にインフラの長寿命化に資する材料や構造物の研究開発の支援に取り組んできました。今後はこれに加え、現場での点検・診断、補修設計を支援する新しい劣化計測ソリューションを提案していきます。

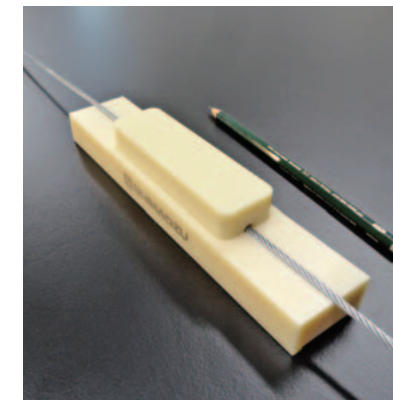
■ コンクリートのカメラ画像



■ 新技術を使用して左と同じ個所を可視化した欠陥可視化画像



新技術はコンクリートの表面に超音波を伝搬させ、亀裂・剥離などに反応した超音波の振動を専用のレーザーとカメラで検知し可視化する。肉眼やルーペ目視で確認できない微細なひび割れ[←通常目視で確認不能、ルーペ目視で確認可能、←ルーペ目視でも確認不能]も検出可能となる。



ワイヤーロープ検査用センサーモジュール (試作品)

第154期の主なトピックス (2016年4月～2017年3月)

■ 計測機器事業 ■ 医用機器事業 ■ その他

2016年 8月 乳がん手術における転移診断をサポートする近赤外光カメラシステム「LIGHTVISION」を発売

本製品は、乳がんの転移有無を調べるためにセンチネルリンパ節を取り出し病理診断する際、蛍光薬剤によってセンチネルリンパ節を可視化することで、正確かつ迅速な手技を支援するシステムです。センチネルリンパ節にがんの転移がなければ、不必要に広範囲を切除せずに済むため、リンパ浮腫などの辛い後遺症の発生率を抑えることができます。当社は、痛みをとまわずに検査が可能な乳房専用PET装置「Elmammo」を2014年に国内で初めて発売するなど、社会課題となっている乳がんの検査や治療への貢献に努めています。



2016年 12月 当社グループ会社の社長が「JAPAN WOMEN AWARD 2016」の個人部門で入賞

(株)島津インターナショナル社長の梶谷良野が、フォーブスジャパンが主催する「JAPAN WOMEN AWARD 2016」の個人部門「革新をもたらすリーダー賞」を受賞しました。同アワードは、女性が働きやすい環境づくりを積極的に推進する企業においてロールモデルとして活躍する女性を表彰するものです。梶谷は、当社貿易部で輸出業務に携わった後にシンガポール駐在を経験し、(株)島津インターナショナルの設立にあたって同社へ出向、2014年に当社グループ初の女性社長となりました。



2017年 1月 AIを搭載した分析機器の開発に着手

当社は、特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構および大阪大学と、大阪大学に設置している「大阪大学・島津分析イノベーション共同研究講座」を活用して、質量分析装置とAIを組み合わせた代謝物解析プラットフォームの開発に向け共同研究を実施しています。AIによって効率的にデータを解析することで、バイオ燃料や薬の原料となる低分子化合物などの開発をはじめ、将来的には抗体医薬などの生産効率向上や細胞培養最適化などへの応用を目指しています。

2017年 2月 「島津中国質量分析センター」が「iF DESIGN AWARD 2017」を受賞

「島津中国質量分析センター」は、ドイツのハノーバー工業デザイン協会が主催する全世界の優れた工業デザインを表彰する賞である「iF DESIGN AWARD 2017」を受賞しました。



2017年 3月 共同研究・共同開発を推進するため5ヶ国で欧州イノベーションセンターを開設し、本部をShimadzu Europa GmbH (SEG) 内に設置

当社は、「欧州イノベーションセンター」をスイス、フランス、イタリア、オーストリア、ドイツの5ヶ国で開所し、その本部をドイツのSEG内に設置しました。当センターで、臨床、食品、複合材料、およびイメージングの4分野における共同研究を推進し、市場ニーズに基づいたナンバーワン・オンリーワンの商品やシステムおよびアプリケーションの開発を進めていきます。

2017年 3月 新中期経営計画発表 [3、4頁をご参照]

会社概要

■ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 株式会社島津製作所
Shimadzu Corporation
創業 明治8年(1875年)3月
設立 大正6年(1917年)9月
本社所在地 〒604-8511
京都市中京区西ノ京桑原町1番地
電話075-823-1111(代表)
資本金 26,648,899,574円
従業員数 単独 3,202名 連結 11,528名
連結子会社数 国内24社 海外50社

■ 主要な事業所 (2017年6月29日現在)

本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地
支社 東京/関西(大阪市)
支店 京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/
北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/
東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)/静岡
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木/秦野/瀬田(大津市)
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/京都市)
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

■ 取締役 (2017年6月29日現在)



代表取締役
会長
中本 晃
取締役会議長



代表取締役
社長
上田 輝久
CEO



取締役
専務執行役員
藤野 寛
リスクマネジメント
担当/
航空機器事業部長



取締役
専務執行役員
三浦 泰夫
経理・営業担当/
東京支社長



取締役
専務執行役員
古澤 宏二
経営戦略・IR・
広報担当



社外取締役
澤口 実
弁護士/
東京大学大学院
法学政治学研究所
客員教授



社外取締役
藤原 健嗣
旭化成株式会社
常任相談役/
コクヨ株式会社
社外取締役/
株式会社HI
社外取締役



社外取締役
和田 浩子
Office WaDa 代表

■ 監査役 (2017年6月29日現在)



常任監査役
藤井 浩之



常勤監査役
上松 幸治



社外監査役
飯田 隆
弁護士/
アルプス電気株式会社
社外取締役
(監査等委員)/
日本電信電話株式会社
社外監査役



社外監査役
西尾 方宏
公認会計士/
立命館大学大学院
客員教授/
株式会社マダム
社外監査役/
サムコ株式会社
社外監査役

株式情報 (2017年3月31日現在)

株式の状況

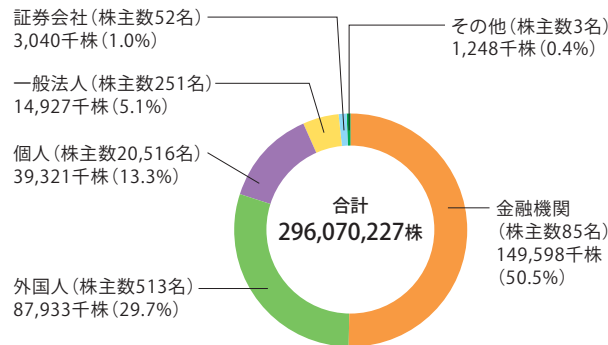
株主数 21,420名
発行済株式総数 296,070,227株

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------|---------|---------|
| 明治安田生命保険相互会社 | 20,742 | 7.04 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 17,911 | 6.08 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 17,281 | 5.86 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 7,766 | 2.63 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 7,672 | 2.60 |
| 太陽生命保険株式会社 | 7,411 | 2.51 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 6,287 | 2.13 |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 6,101 | 2.07 |
| 株式会社京都銀行 | 4,922 | 1.67 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 4,727 | 1.60 |

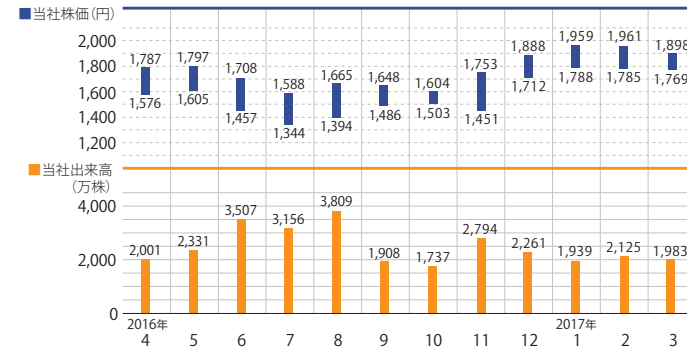
*持株比率は、自己株式(1,245,641株)を控除して計算しております。

株式の所有者別分布



日本取引所グループ(JPX)と東京証券取引所、日本経済新聞社が、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした企業を選定する目的で、2014年から公表を開始した株価指数。

株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。) |
| 公告方法 | 電子公告とし、当社ホームページに掲載します。 (http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html) ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、京都新聞および日本経済新聞に掲載します。 |
| 1単元の株数 | 100株 ※2017年1月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。 株主各位におかれましては、本件に関する手続きは不要です。 |

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料) 0120-094-777
(受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

証券コード 7701
上場証券取引所 東証第一部

証券会社に口座をお持ちでない株主様へ

現在、証券会社に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約がありますので、次のお手続きをお勧めいたします。ご所有の株式が「特別口座」で管理されているかご不明の株主様は、**三菱UFJ信託銀行** へお問い合わせください。

お心当たりは
ございませんか?

- お手元に株券がある(証券会社に株式を預けていない)
- 配当金のご連絡通知に記載されている株式数と、証券会社に預けている株式数が一致しない

お心当たりが
ございましたら、

株式が「特別口座」で
管理されている
可能性がございます

①「特別口座」にある株式の証券口座への振替方法

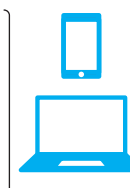
証券会社に口座を開設する。

既に証券会社に株式の取扱いができる口座をお持ちであれば、新たに開設いただく必要はありません。



▶ 三菱UFJ信託銀行に「口座振替申請書」を請求する。

(下記の**三菱UFJ信託銀行**のホームページ「特別口座」に関するお手続き(上場会社)からも口座振替申請書〔特別口座〕をダウンロードいただけます。



▶ 申請書に必要な事項を記入・届出印を押印して三菱UFJ信託銀行に送付する。

[送付先]
〒137-8081
東京都江東区東砂7-10-11
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部



▶ これで手続きは完了です。

証券会社の口座に株式が振替わります。

② 単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式(100株未満)を、市場価格にて当社に売却(買取請求)するお手続きです。ご希望の株主様は、**三菱UFJ信託銀行** にお問い合わせください。

例) 50株をご所有の株主様の場合

ご所有株式
50株

買取請求
当社に50株を売却

売却代金のお受け取り
(50株×市場価格)

株式に関するお問い合わせ先

■住所・氏名変更、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、相続に伴うお手続き等
→ 株式をお預けの証券会社、または証券会社にお預けでない場合は、**三菱UFJ信託銀行**

■「特別口座」(上記ご参照)に関するご照会、郵便物の発送と返戻に関するご照会、支払い期間経過後の配当金に関するご照会
→ **三菱UFJ信託銀行** 証券代行部テレホンセンター(通話料無料) 受付時間 9時~17時(土日祝除く)

電話 0120-094-777(大阪) / 0120-232-711(東京)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

定時株主総会に関するご報告

本年より、決議通知を廃止いたしました。2017年6月29日開催の当社第154期定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社ホームページに掲載しておりますので、そちらをご高覧ください。

<http://www.shimadzu.co.jp/ir/shareholders.html>

当社ホームページのご案内 ▶▶▶ <http://www.shimadzu.co.jp>



Q 島津製作所

検索

当社は健康経営優良法人2017(ホワイト500)に認定されました。
[2017年2月]



健康経営優良法人ホワイト500は、経済産業省が日本健康会議と共同で、優良な健康経営の施策を実施している大規模法人を認定する制度です。

当社は2016年度の「なでしこ銘柄」に選定されました。[2017年3月]



経済産業省と東京証券取引所は、全上場企業約3,500社の中から、業種ごとに、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性活躍を積極的に推進する企業を「なでしこ銘柄」として選定しています。

島津製作所 創業記念資料館のご案内

当館は、創業100年を迎えたのを記念し、創業者である初代と二代目島津源蔵の遺徳を偲び1975年に開設されました。館内には、創業以来製造してきた理化学器械、産業機器やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料などを展示しており、島津製作所の歩みとともに、日本の近代科学技術の発展過程をご覧いただけます。



島津製作所 創業記念資料館 (国の登録有形文化財)

- 休館日 / 水曜日、年末年始
- 入館時間 / 9:30~16:30 (閉館17:00)
- 入館料 / 大人300円 中高生200円
小学生以下無料
団体割引 (20名以上20%引)

- 市バス「京都市役所前」下車徒歩約3分
- 京阪電車「三条駅」下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車2番出口徒歩約3分
(地下鉄烏丸線「京都駅」より「烏丸御池駅」乗換、
地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車)
- JR「京都駅」よりタクシーで約20分

資料館来館者35万人突破



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南
● TEL/075-255-0980 ● FAX/075-255-0985
● <http://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>

キリトリ

島津製作所 創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。
(2018年3月末まで有効)



環境への配慮のため、責任ある森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用し、植物油を用いた印刷をしています。

DP050-0154B / 0220-06701-23BNS